



令和2年度

九州高等学校生徒理科研究発表大会

物理部門 最優秀賞受賞！！

令和2年度九州高等学校生徒理科研究発表大会 長崎大会の審査結果が発表されました。この大会は、各県の発表会で上位に入賞した班のみが出場資格を得られる大会で、長崎県代表として本校からは3班が出場（論文審査）しました。

毎年、全国大会上位常連校が多く参加する非常にレベルの高い大会ですが、見事理科部2年の本村 かな さんの「なぜ落ち葉は裏向きが多いのか」が最優秀賞を受賞しました。河原 正堂 さん、太田 誠也 さんの班（オキヒラシイノミガイについての研究）と川田 匠人 さんの研究（マイクロプラスチックについての研究）はともに優秀賞を受賞しました。4名の皆さん、受賞おめでとうございます。

現在、本村さんは3月13日（土）に開催される日本物理学会 Jr. セッションに向けて、風洞実験やコンピュータシミュレーションの結果を取り入れながら発表準備を進めているところです。河原さん、太田さんの班は3月21日（日）に開催されるWWL・SGH×探究甲子園に向けて、新たに食性についての知見を取り入れながら準備を進めています。川田さんはデータの信頼性を上げるため、マイクロプラスチック採集装置の大型化に取り組んでいます。3班とも、今後の研究の進展が楽しみです。

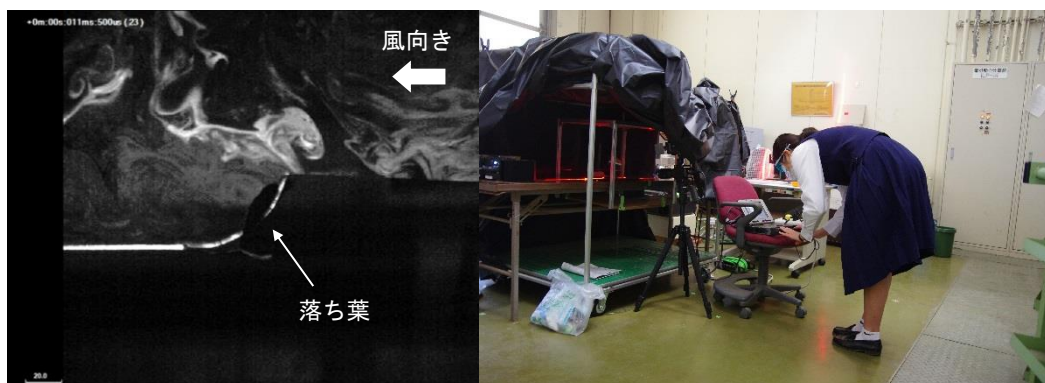


写真 左：落ち葉のまわりの風の流れ 右：実験のようす